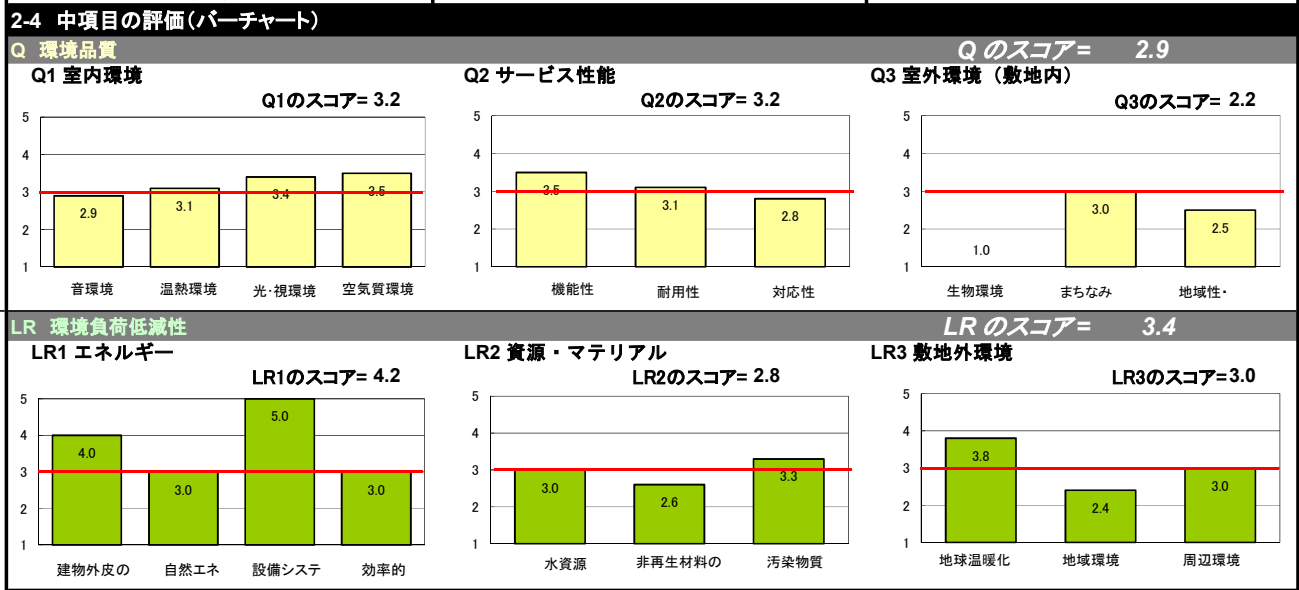
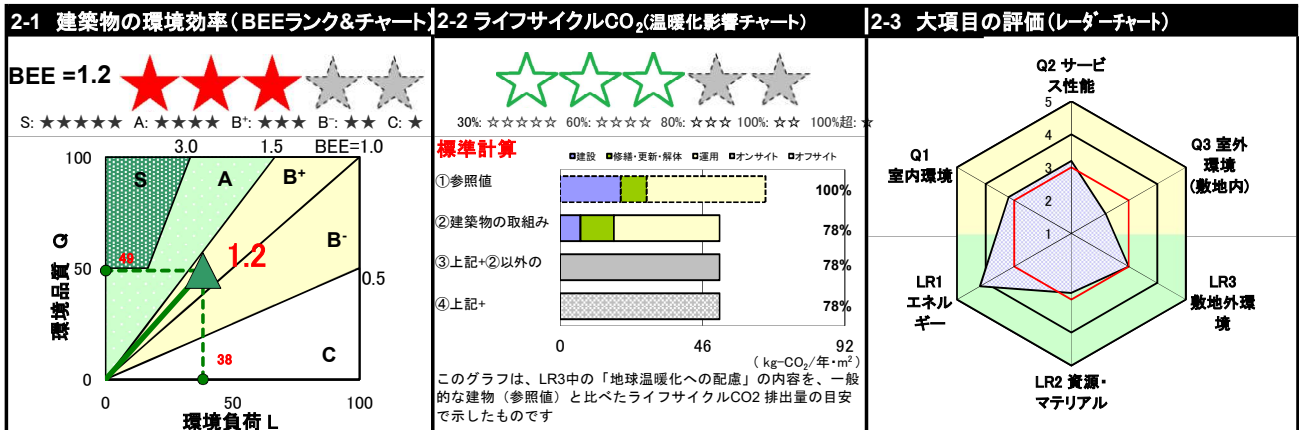


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)プリシアヒルズ藤沢新築工事	階数	地上6F
建設地	神奈川県藤沢市本町1丁目728-1	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域・第1種住居地域、準	平均居住人員	90人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年12月 予定	評価の実施日	2023年7月24日
敷地面積	967㎡	作成者	(株)クレー級建築士事務所
建築面積	540㎡	確認日	2023年7月28日
延床面積	2,202㎡	確認者	

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項		その他
総合 建築基準法を遵守した上で、計画前に比べ緑地部分を増やす等、居住者が不自由なく過ごせる空間を整備し、地域環境へも配慮した計画としている。		
Q1 室内環境 建築材料は、JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。 建築物の熱負荷抑制(庇による日射遮蔽、Low-Eガラスによる断熱強化)。	Q2 サービス性能 鉄筋コンクリート造の劣化対策等級3の性能確保。	Q3 室外環境(敷地内) 庭園灯による夜間照明の設置、防犯カメラの設置等防犯性に配慮している。
LR1 エネルギー 断熱等性能等級4相当である。 LED照明設備。	LR2 資源・マテリアル ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	LR3 敷地外環境 LCCO ₂ 排出率78%

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される